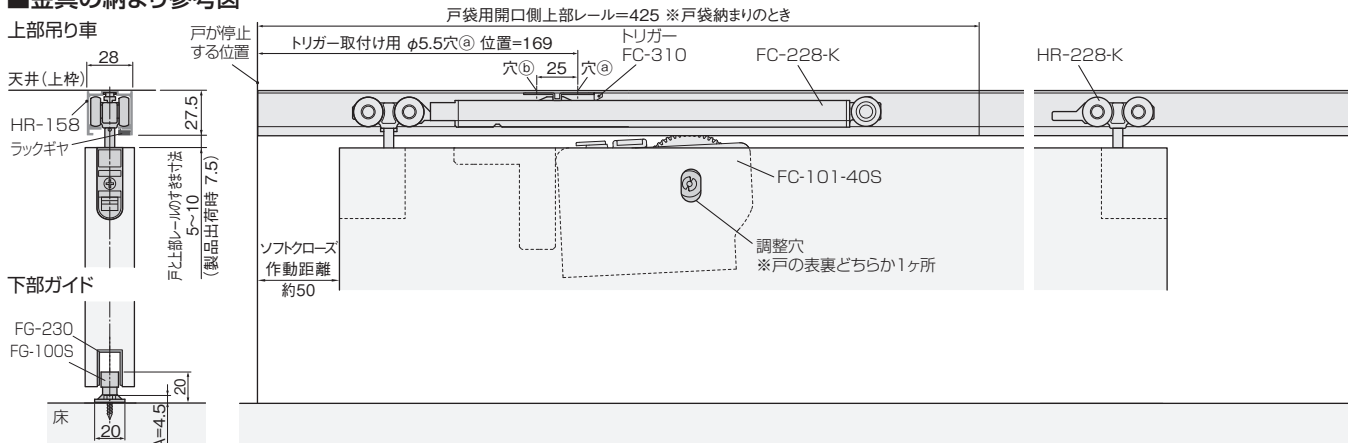


設計ガイド

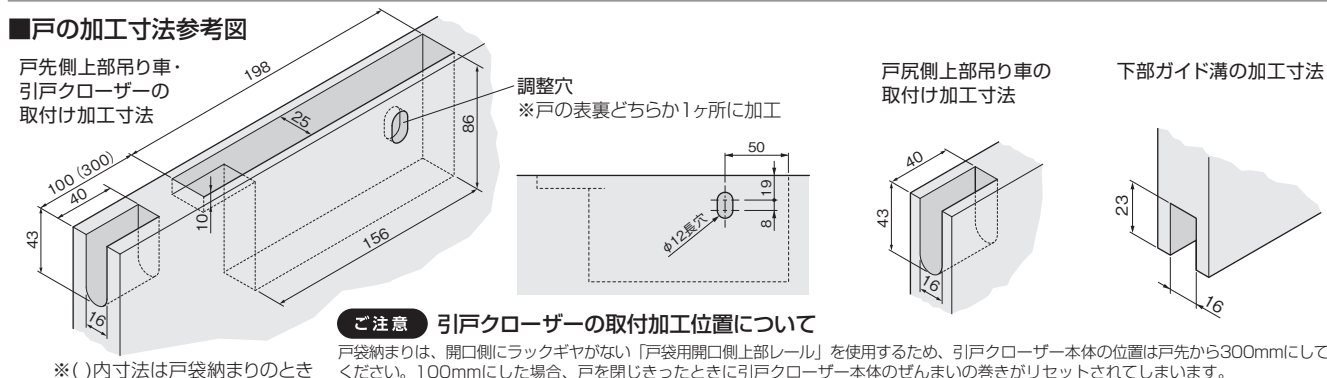
■金具の納まり参考図



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(上図参照) - 3mm - A
 ※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で戸の上下調整ができます。
 ※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

■戸の加工寸法参考図



●注意 引戸クローザーの取付加工位置について

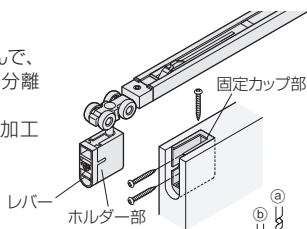
戸袋納まりは、開口側にラックギヤがない「戸袋用開口側上部レール」を使用するため、引戸クローザー本体の位置は戸先から300mmにしてください。100mmにした場合、戸を閉じきったときに引戸クローザー本体のぜんまいの巻きがリセットされてしまいます。

施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 上部吊り車の取付け

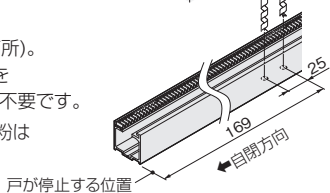
- ①ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
- ②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



2. レールの穴あけ

- ①レール芯の所定位置②③にφ5.5の貫通穴をあけます(2箇所)。
 ※「戸袋用開口側上部レール」を使用する場合、上記の穴加工は不要です。

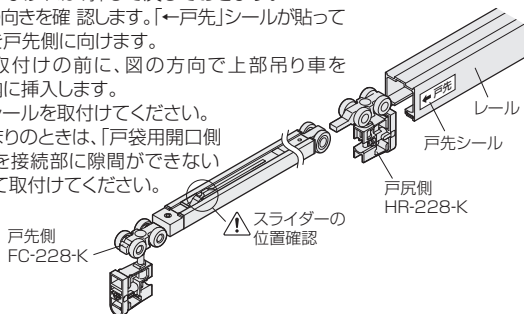
●注意 レール内に残った切り粉は
 取除いてください。



3. レールの取付け

●注意 上部レールは「←戸先」シールの貼ってある側はカットしないでください。

- ①スライダが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。
- ②レールの向きを確認します。「←戸先」シールが貼ってある方を戸先側に向けます。
- ③レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ④上枠にレールを取付けてください。
- ⑤戸袋納まりのときは、「戸袋用開口側レール」を接続部に隙間ができないようにして取付けてください。

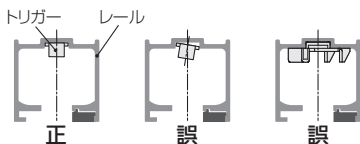


4. トリガーの取付け

- ①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ②穴④に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

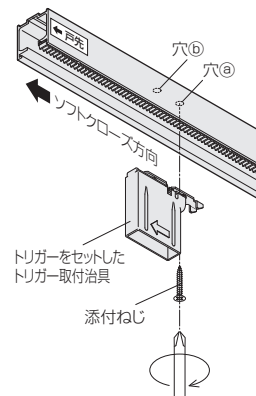
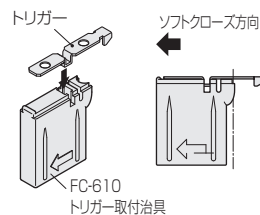
●注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

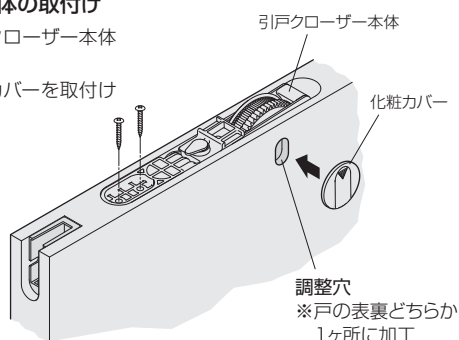
- ③完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴④をねじ止めしてください。



施工ガイド

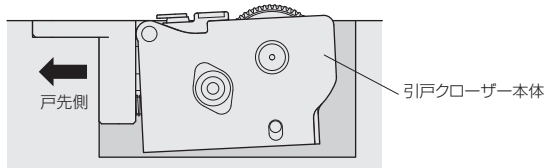
5. 引戸クローザー本体の取付け

- ① 戸の加工部に引戸クローザー本体を取付けます。
- ② 戸の調整穴に化粧カバーを取付けます。



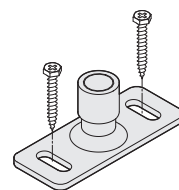
ご注意

引戸クローザー本体を戸先側にしっかり押し当てながら固定してください。



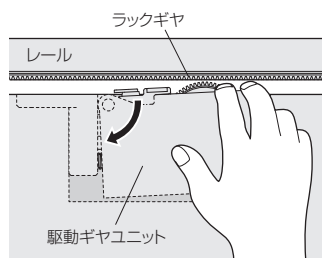
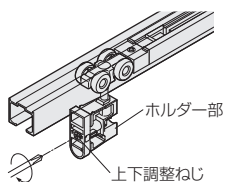
6. 下溝用ガイドレール・下部ガイドの取付け

- ① 戸に下溝用ガイドレールを取付けます。
 - ② 下部ガイドを床の所定の位置に取り付けてください。
- 垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

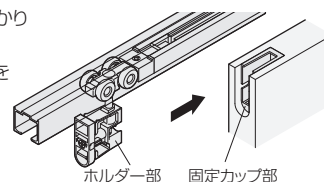


■戸の吊り込み

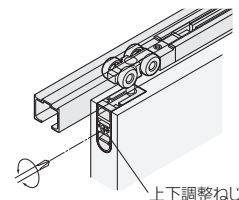
- ① 上部吊り車のホルダー部の上下調整ねじを左に回し、最下位置まで下げます。
- ② 戸の下部のガイド溝を、下部ガイドに差し込みます。
- ③ 引戸クローザー本体を手で押さえると、駆動ギヤユニットがゆっくり下がります。その状態で戸をを起こし、レールのラックギヤと噛み合わせます。



- ④ 固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。
- ※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



- ⑤ ホルダー部のねじを回し、戸を適正な位置まで調整してください。ホルダー部のねじを回すと戸の上下調整ができます。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。



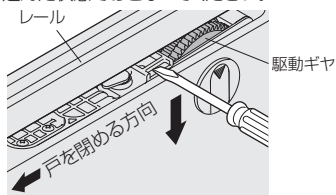
※ソフトクローズの速度調整はできません。

■引戸クローザーの設定

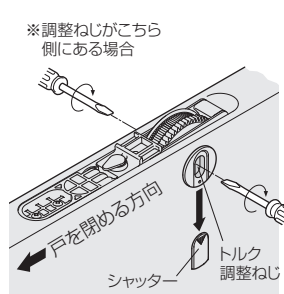
ご注意

初期状態では、自閉駆動力は適正ではありません。引戸クローザーの設定をする必要があります。この操作は必ず、引戸を吊り込んだ状態でおこなってください。

- ① 戸を手動で閉めさせてください。
- ② レールと戸の隙間から、駆動ギヤユニットをマイナスドライバーなどで押し下げると、駆動ギヤが回転します。回転が自然に止まると、ぜんまいの巻きがリセットされます。



- ③ 化粧カバーのシャッターを下にスライドさせてはずします。
- ④ マイナスドライバーで、駆動ギヤの側面にあるトルク調整ねじを、矢印の方向へ回します。2周回するのが標準の駆動力となります。
- ⑤ 調整後、シャッターを化粧カバーに嵌め込みます。



■引戸クローザーの調整

引戸が閉まりきらない場合

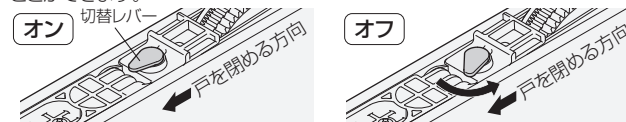
- 戸がどこかに干渉して、摩擦抵抗が発生している場合があります。戸に干渉する箇所がないようにしてください。
- レールのラックギヤと駆動ギヤの噛み合わせが合わず、空回りしている場合は、吊り車を上下に調整して、噛み合うようにしてください。
- 以上の問題が解消しても閉まりきらない場合は、上記「■引戸クローザーの設定」を参照し、トルク調整ねじを回して駆動力を強めてください。調整する際は、戸が開まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

引戸を開ける時に重い・勢よく閉まってしまう場合

- 上記「■引戸クローザーの設定」の手順を最初からおこなってください。調整する際は、戸が開まる速度をこまめに確認しながら調整してください。
- ※駆動ギヤユニット保護の為、トルク調整ねじを弱方向に回そうとしても、ドライバーの歯が引っ掛からず、回せないようになっております。

■フリーストッパー機能のオンとオフ

戸を開めた状態で切替レバーを傾けると、フリーストッパー機能をオフにすることができます。



ご注意

この操作は戸を閉めきった状態で行うようにしてください。それ以外の状態で操作を行うと、金物が破損する恐れがあります。

■操作説明シールの貼り付け

すべての金物の調整が完了したら、引戸木口面の下側に「ご入居様向け操作説明」シールを台紙からはがして貼ります。

